

2030ビジョン・中期経営計画（2021～2025）



I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画（2021-2025）

III. 社名変更

世界中の社会・経済で大きな変革が起きている。

新型コロナにより世界中が未曾有の危機に陥る中で、ダイバーシティや人種問題など人権に対する意識は更に高まり、環境問題は人類共通の課題として目の前に広がっている。そのような中、技術革新はあらゆるビジネスを根本から変える力を持ち、衰退するビジネスがある一方で、新たなサービスが短期間かつグローバルレベルで拡大することも可能になってきた。SDGsが広く浸透するなど世界が直面する課題に対し、社会の意識が変化している。

◆社会の課題

環境破壊・資源の枯渇

- CO₂排出による地球温暖化、気候変動
- マイクロプラスチックによる生態系への影響
- 経済成長に伴う資源の枯渇

インフラ老朽化・自然の脅威

- 老朽化した社会インフラの更改・更新
- 多発する自然災害への備え
- 新型コロナによるニューノーマルへの対応

人口減少による過疎化・空洞化

- 少子高齢化、生産年齢人口減少の顕在化
- 地方の過疎化、高齢化の進展
- 市街地の空洞化による都市の衰退

◆産業・社会の変化

急速な技術革新

- 5Gから6Gへなどの情報通信技術の進展
- AI、ロボティクス技術による日常の変化
- DXによる新たな社会の兆し（Society5.0）

モノからコトへサービスの変化

- XaaSなど、所有から利用へサービスの変化
- デジタルによる付加価値の提供
- ビジネスマネーの変化による新たな事業創出

社会の意識の変化

- LGBTQなど人権に対する意識向上
- ダイバーシティ&インクルージョンの進展
- SDGs、ESGは必須の指標

2030年に向けたエクシオグループの果たす役割

2030年に目指す社会を実現するため、エンジニアリングの現場をソリューションでイノベーションサイクルを循環させ、新しいエンジニアリングフィールドを広げていく。

2030年に目指す社会

カーボンニュートラルな社会

- ・資源・エネルギー循環の高度化
- ・再生可能エネルギー発電の充実と排気ガスゼロ化

健康で生き生き暮らせるスマート社会

- ・高度な通信による都市やビル、家庭のスマート化
- ・高齢化社会に寄り添った医療・行政・社会システム

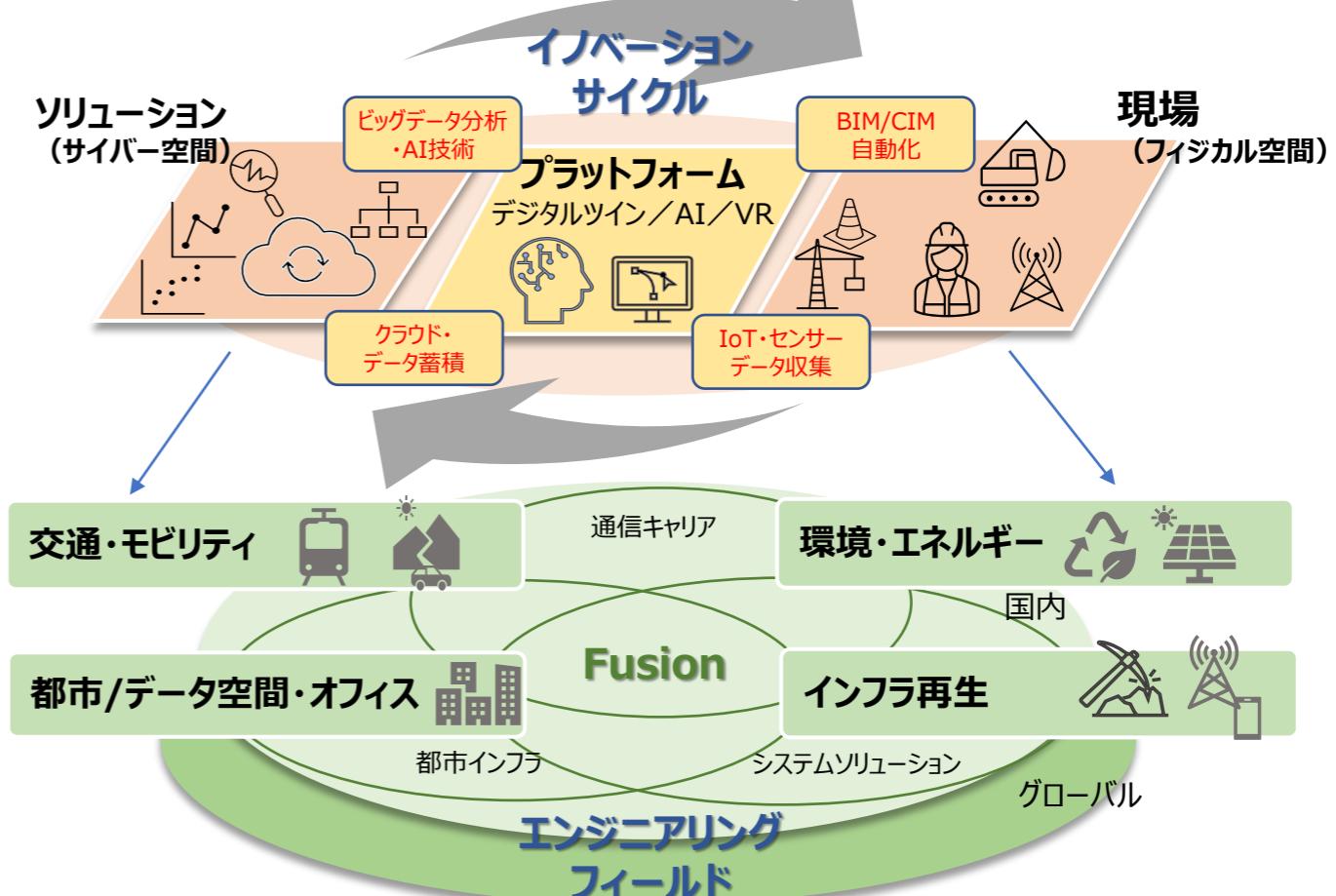
グローバルで多様性を享受する社会

- ・グローバリゼーションと多様性を意識した働き方改革
- ・APACでの通信インフラ/ソリューションの整備

貧困・格差が解消される社会

- ・教育を機会均等に受けられる文教ソリューション
- ・産業格差解消に向けた産業のデジタル化

エクシオグループの果たす役割



2030年に目指す貢献領域

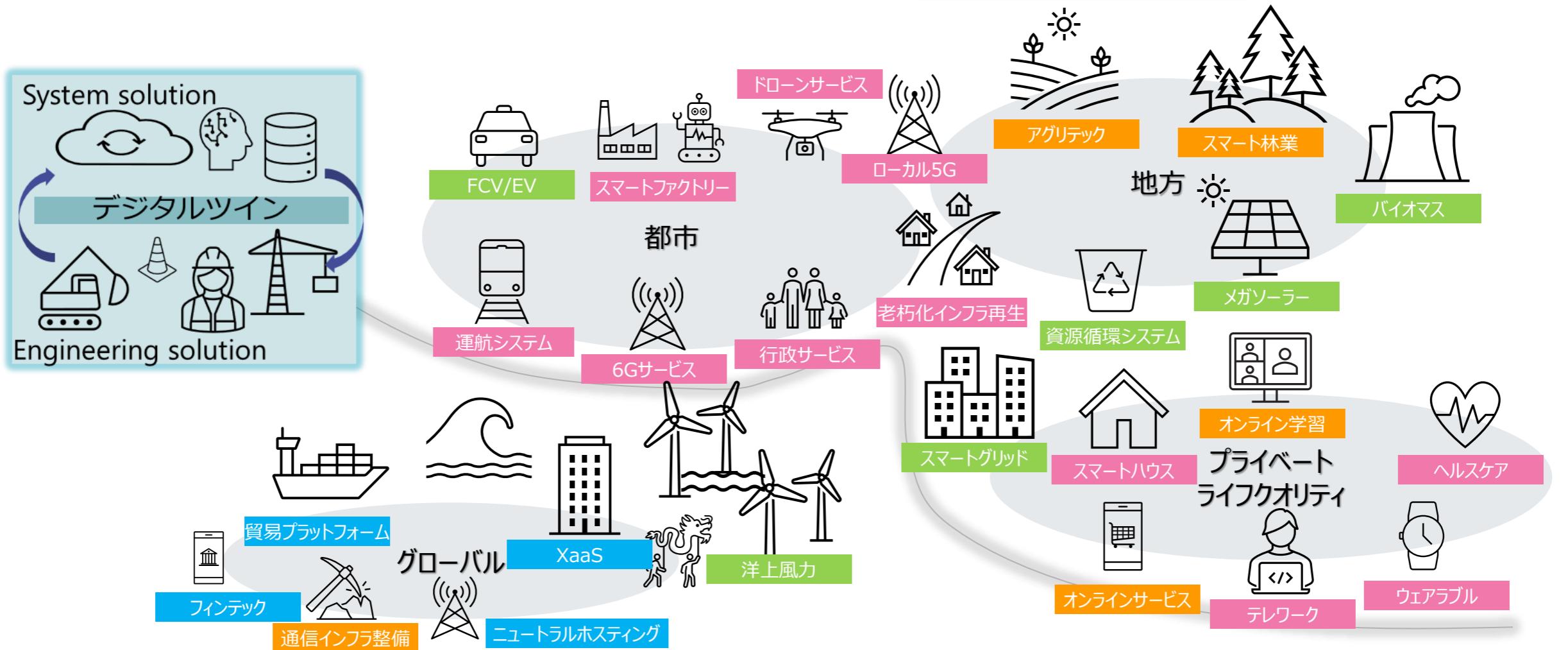
2030年に
目指す社会

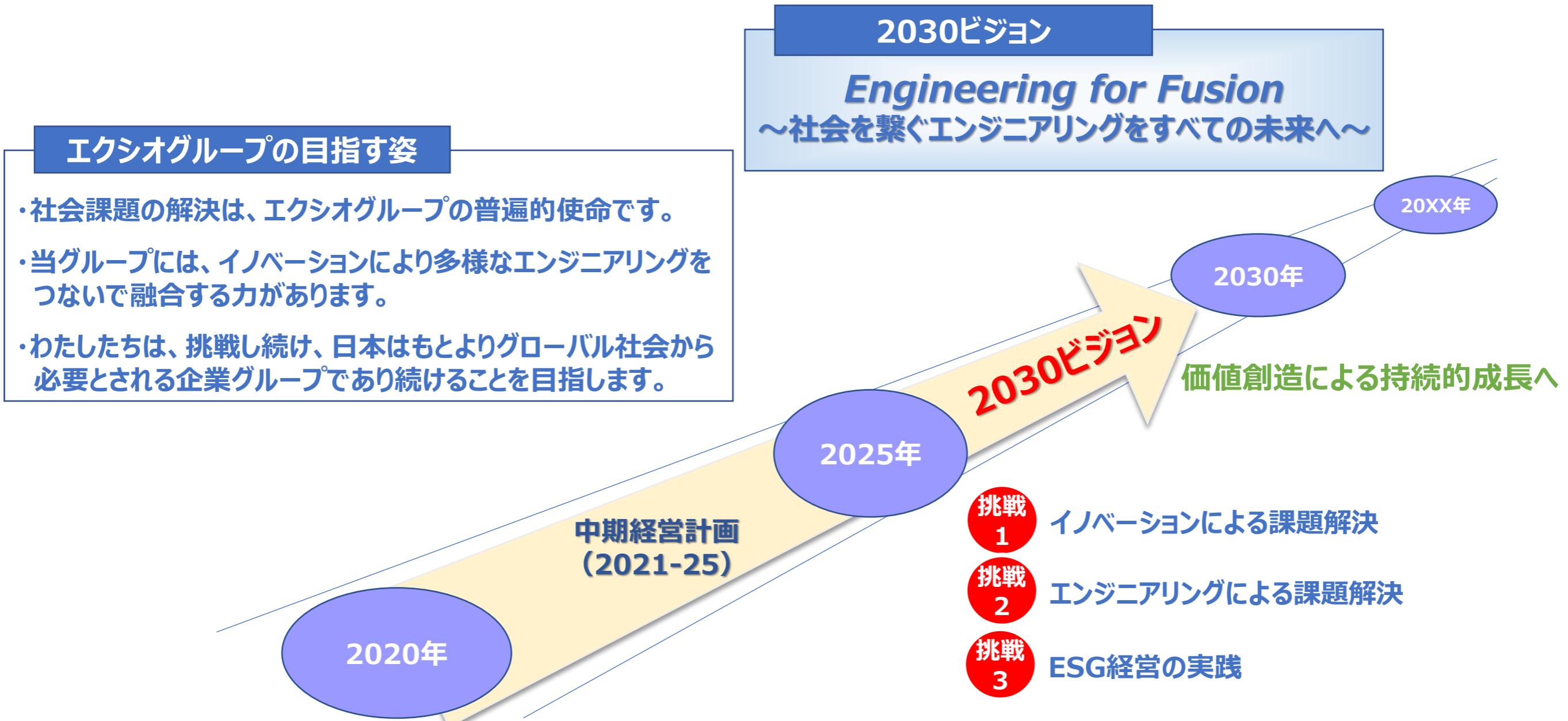
カーボンニュートラルな社会

健康で生き生き暮らせる
スマート社会

グローバルで多様性を
享受する社会

貧困・格差が解消される社会





挑戦 1：イノベーションによる課題の解決

イノベーションの推進、DX化によりエンジニアリングの標準化プラットフォームを構築

イノベーションの推進・継続により、自らのプロセス・バリューチェーンのDX化を進め、顧客の課題解決につながるEXEOデジタルソリューションとして提供し、将来は最適化されたエンジニアリングのプラットフォームを構築し提供する。



イノベーションの推進・継続

自らのデジタル変革

ソリューション提供

プラットフォーム構築

挑戦 2：エンジニアリングによる課題の解決

多様なエンジニアリングフィールドを融合し新たな価値で課題を解決

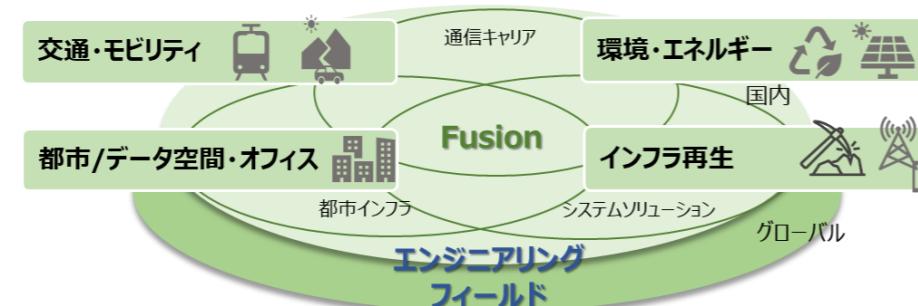
社会課題へのソリューション

交通・モビリティ

- 人材交流・物流増加に伴う公共インフラ整備
- 自動運転など5G/AI/ロボティクスや通信基盤整備

環境・エネルギー

- 地球温暖化対策の再生可能エネルギーの強化
- 資源リサイクルに向けた活動の活性化



都市/データ空間・オフィス

- クラウドサービス利用増加に伴うデータセンタ増強
- スマートオフィス/スマートシティなど都市再開発

インフラ再生

- リニューアル/リノベーション需要への対応
- 老朽化インフラの更新、維持管理への対応

都市

つなぐ
エンジニアリング

情報

ヒト

モノ

挑戦3：ESG経営の実践

ESG経営の実践により企業価値向上を実現し、SDGsの達成に貢献

企業価値の向上・持続的な成長への貢献

- 環境破壊・気候変動 → 再生可能エネルギー事業
- 資源枯渇・廃棄物削減 → リユース事業
- 老朽化インフラ → インフラ再生（リニューアル）事業
- 多発する自然災害 → BCPソリューション
- 生産年齢人口の減少 → ロボティクス・AI・自動化ソリューション
- 社会のスマート化 → インフラプラットフォーム
- 必須の社会生活基盤 → 情報通信インフラ事業

- ・持続可能な環境配慮経営
- ・働き方改革/ダイバーシティ推進
- ・コーポレートガバナンスの継続・強化

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

事業を通じた
社会課題の解決

ESG経営

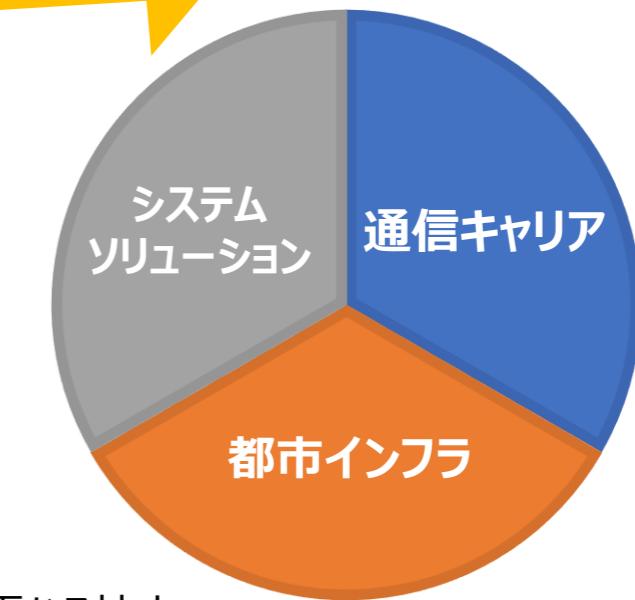
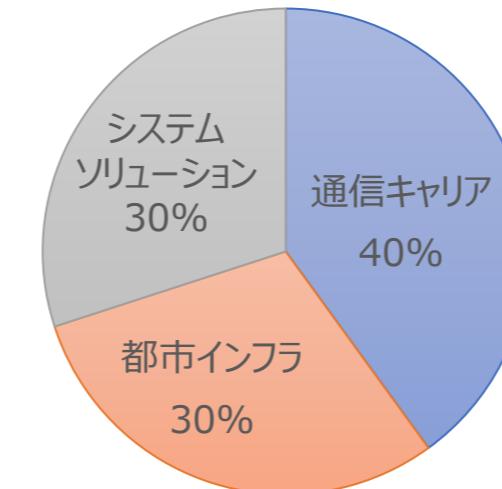
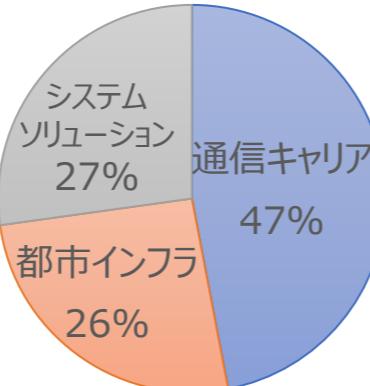
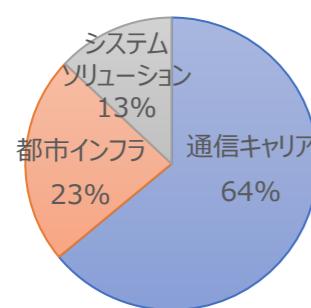


2030年に目指すポートフォリオ

景気や社会情勢に左右されない強固な経営基盤を構築するため、都市インフラおよびシステムソリューション事業を更に拡大し、2030年度の各セグメントの売上高を同等程度にまで成長させる。

2015 2020 2025 2030

持続的成長



- ・西日本同業3社の統合
- ・M&Aによる業務拡大
- ・グローバル事業推進

- ・社会インフラ再生事業参入
- ・再生可能エネルギー事業拡大
- ・グローバル事業の新フェーズへ

- ・新領域事業の更なる拡大
- ・ESG経営による企業価値向上
- ・SDGs貢献企業へ

エクシオグループは、
“Engineering for Fusion”を通じて
皆さまとともに、社会課題の解決を目指します。

～社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ～

I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画（2021-2025）

III. 社名変更

中期経営計画（2016-2020）の振り返り

各経営指標について目標を上回る成果を上げた。

各事業のポートフォリオについては、都市インフラおよびシステムソリューションの事業拡大により当初計画した比率（50:25:25）を達成

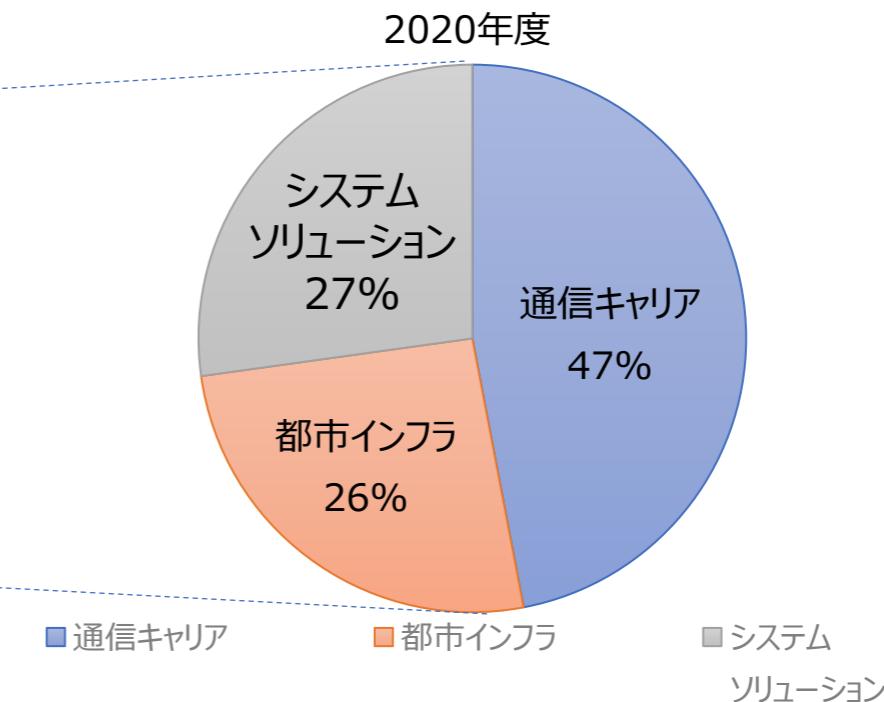
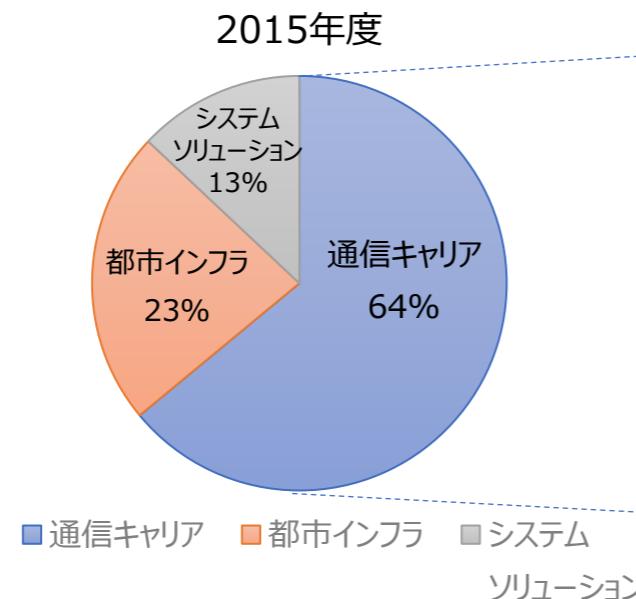
【経営指標】

業績目標	2015
売上高	2,874億円
営業利益	184億円 (6.4%)
ROE	8.2%
EPS	125円



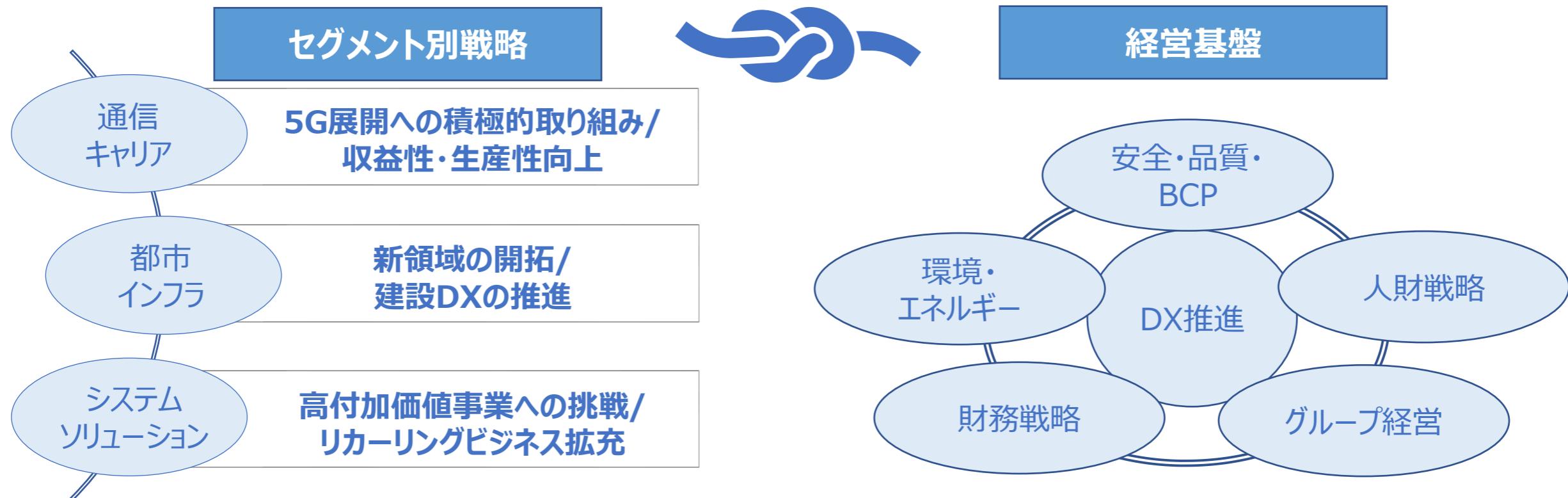
2020中期目標	2019実績	2020実績
5,000億円	5,245億円	5,733億円
330億円 (6.6%)	311億円 (5.9%)	366億円 (6.4%)
8.5%	5.9%	8.8%
210円	139円	217円

【事業ポートフォリオ】



2025年度 業績目標

- ・ 売上高 6,300億円
- ・ 営業利益 470億円 (7.5%)
- ・ ROE 9.0%以上
- ・ EPS 280円以上



お客様の最適な通信環境構築パートナーへ



5G基盤の構築

- ✓ 効率的な基地局工事の実現
- ✓ マルチキャリア体制の構築



収益性・生産性の向上

- ✓ 業務の標準化/共通化の徹底
- ✓ 流動性を高めるためのマルチスキル化



マルチスキル化の推進

- ・固定/モバイル間の相互応援



業務のDX化・オフショアの活用

- ・AIを活用した写真検査の自動化など
- ・海外拠点を活用した原価低減



業務集約・統合

- ・工事事務所などの最適な配置

レジリエンスを高めるエンジニアリング提供



新領域の開拓

- ✓ 通信・電気・土木・プラント技術の融合
- ✓ ビル丸ごと等、複合領域受注の促進



建設DXの推進

- ✓ i-Constructionの推進による建設改革
- ✓ 設計業務などのオフショア活用による生産性向上



環境・エネルギー分野への参入

- ・自社売電、洋上風力発電事業への挑戦



インフラ再生ビジネスの強化

- ・老朽化インフラの更新、維持管理ビジネス実現



BIM/CIM、AI等の積極活用

- ・設計、積算の自動化、ワークフローの変革

ソリューションプロバイダへの進化



高付加価値事業への挑戦

- ✓ 労働集約型からの脱却
- ✓ 戦略アプリケーションの開拓
(AI、ロボティクス、ドローンなど)



リカーリングビジネス拡充

- ✓ お客様/パートナーとの共創、協業
- ✓ 保守運用・セキュリティビジネスの開拓



新技術の追求・お客様DX推進

- ・パッケージインテグレーションビジネスの確立
- ・キラーアプリ発掘



XaaSエンジニアの育成

- ・クラウドを利用したシステム化、マネジメントに関わる多様なニーズへの対応力向上

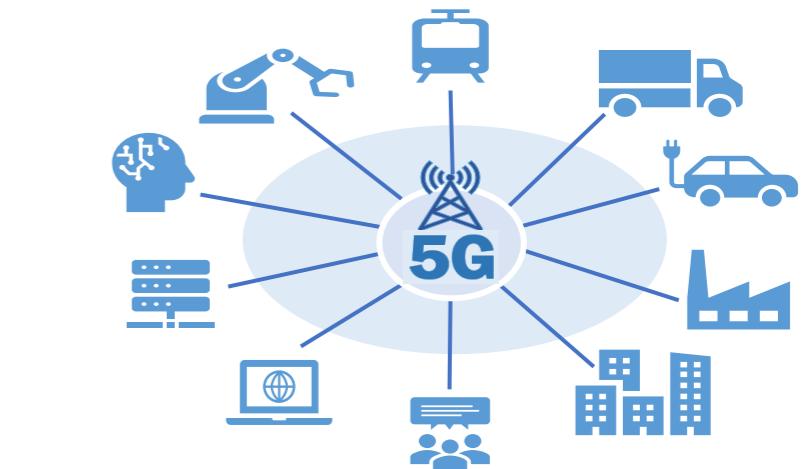
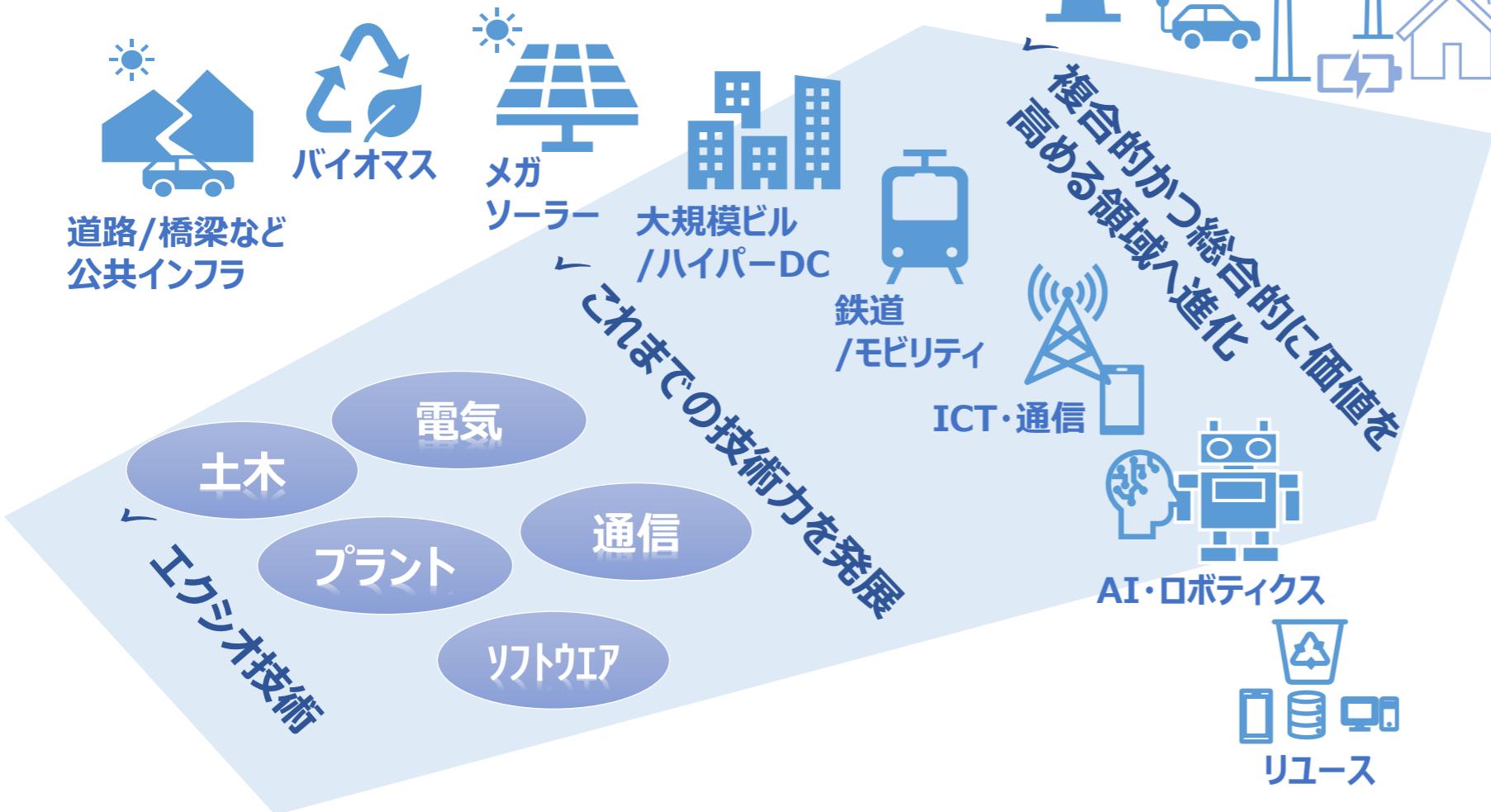


オフショア/開発プロセス改善

- ・海外拠点を活用した原価低減
- ・自らの開発プロセスを分析し生産性向上

セグメント別戦略：成長戦略イメージ

- 再生可能エネルギー（バイオマス、風力）や蓄電池などスマートエネルギー事業へ挑戦
- 長期的に企業価値を高めるESG活動としての取り組み



✓ 技術の進化を活用

DX、AI、IoT、VR/AR、デジタルツイン 等

✓ アイデア/付加価値で“力”を高める 気づき～アイデア～改善～提案(特許)～展開

✓ 環境変化に適応

少子高齢化、労働者の多様化、2024問題、
自然災害増、パンデミック対応等

安全・品質文化
基本動作の徹底・実践

危機管理
危機管理室の常設

- ◆ IoTとクラウドで現場の安全を監視
今後はDX、AIでさらなる充実へ
<工事監視センタ>



- ◆ 5G工事に適した作業安全、工期短縮、
環境配慮などを一気に解決
<<くるりん波>> 特許取得済



- ◆ リアルタイムの安全作業を視える化
バイタルやAI活用でさらなる進化へ
<スマートヘルメット>



- ◆ 災害時に必要な100Vを即確保！
電源車やレンタルエンジンと簡単接続！
<エネコンポ> 特許出願中



安全・品質

災害対策

✓ 環境関連事業への積極的貢献

- ・バイオマス事業の展開
- ・洋上風力発電工事へのチャレンジ
- ・太陽光発電などの再生可能エネルギー工事継続
(メガソーラー、太陽光+蓄電池オフグリッド、EV電源など)

✓ 再生可能エネルギー利用の促進

- ・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）導入促進
(南関東社屋が神奈川県よりスマートエネルギー計画に認定)
- ・再生エネルギー電力の購入

✓ 自社からのCO₂排出の抑制

- ・EVなどの低公害車への転換
(2025年までに営業などの一般車両を全て置き換え)

✓ 省エネルギー活動の活性化

- ・グリーン購入
- ・テレワークやペーパーレスなどによる日常活動

✓ 事業環境変化への適応力強化

- ・ 即戦力人財の採用強化
- ・ オンライン研修の充実による早期人財育成

✓ 労働生産性の向上

- ・ デジタル化に必要な高度IT人財の確保
- ・ 労務管理の見える化による労働時間の適正化

✓ 多様な価値観を認めあう風土醸成

- ・ ダイバーシティ&インクルージョンの更なる推進
- ・ グローバルを含めたグループ全体での人財交流

✓ ニューノーマル時代の働き方への対応

- ・ 新しい働き方に沿った人事制度の再構築
- ・ 個人の能力・キャリア志向に沿った育成・配置

✓ 安定的な財務基盤の確保

- 高水準の自己資本比率を継続
- 普通社債・グリーンボンドを中心とした有利子負債主体での資金調達を実施

✓ 成長のための積極的な投資

- M&A、イノベーション推進、デジタル投資の3本柱で成長領域・事業強化に重点投資

✓ 安定的かつ機動的な株主還元

- 安定的かつ継続的に配当
- 機動的な自己株式取得を継続

✓ 柔軟かつ機動的なグループ運営の実現

- ・ 事業領域/エリアに基づく子会社の統合/分割
- ・ 得意領域への特化による施工力/開発力の最大化
- ・ グループ内人財の柔軟な活用・リソースシフト

✓ グループの強みを活かした シナジーの発揮

- ・ 各社のプレゼンスを活かした地域密着の事業展開
- ・ 全体最適の視点でのグループ会社事業評価
- ・ 安心安全等、グループ内ベンチマークの活用

✓ デジタル化による経営基盤の強化

- ServiceNow・RPA等による業務プロセスの自動化
- BI・アナリティクツールによる経営判断の迅速化
- セキュリティ強化によるセキュアな業務運営
- ニアショア/オフショア活用による生産性向上

✓ ソリューションを通じた新たな価値の構築

- BIM/CIMによるスマートコンストラクションの実現
- セキュリティ商材のサービス化による収益拡大
- 海外での新領域ビジネスモデルの国内還流による新サービスの創出

	取組課題	関連するSDGs項目
Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギーへのシフト ■ 脱炭素、脱CO₂の取り組み ■ 資源循環型社会への貢献 ■ 環境に優しいグリーン製品活用 	     
Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会への貢献 ■ 事業の安全・品質の確保 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 働き方改革の推進 	     
Governance (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 透明性の高いマネジメントの実現 ■ コンプライアンスの徹底 ■ リスクマネジメントの徹底 	   

I. 2030ビジョン

II. 中期経営計画（2021-2025）

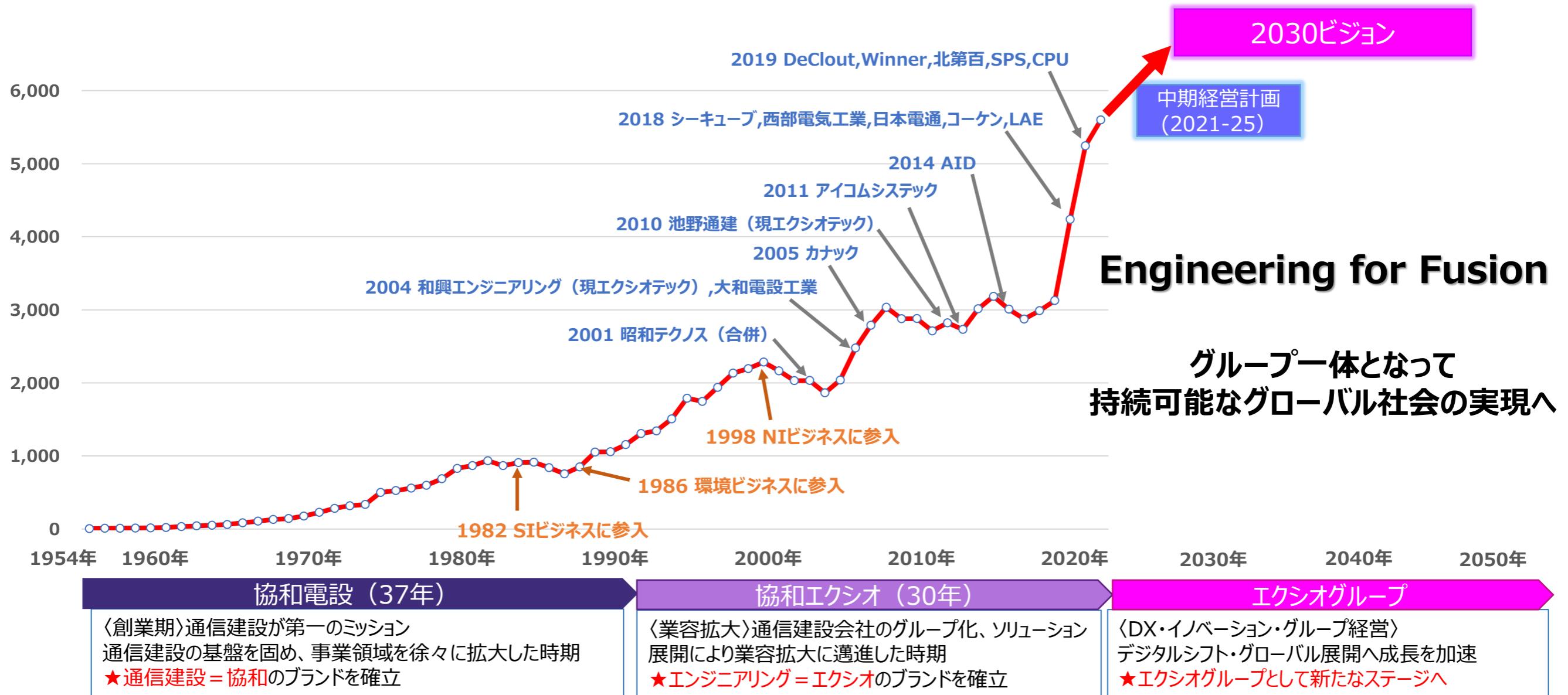
III. 社名変更

グループ中核会社として、グループ会社とともに経営リソースと技術を結集して新たな価値を創造し、大きく成長したいという思いを込めて、次のとおり社名変更いたします。

- 新商号 エクシオグループ株式会社 (EXEO Group, Inc.)
- 変更時期 2021年10月1日

※商号変更については必要な株主総会決議を取得後実施いたします。

これまでの歩みと今後の展開



Engineering for Fusion
社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

